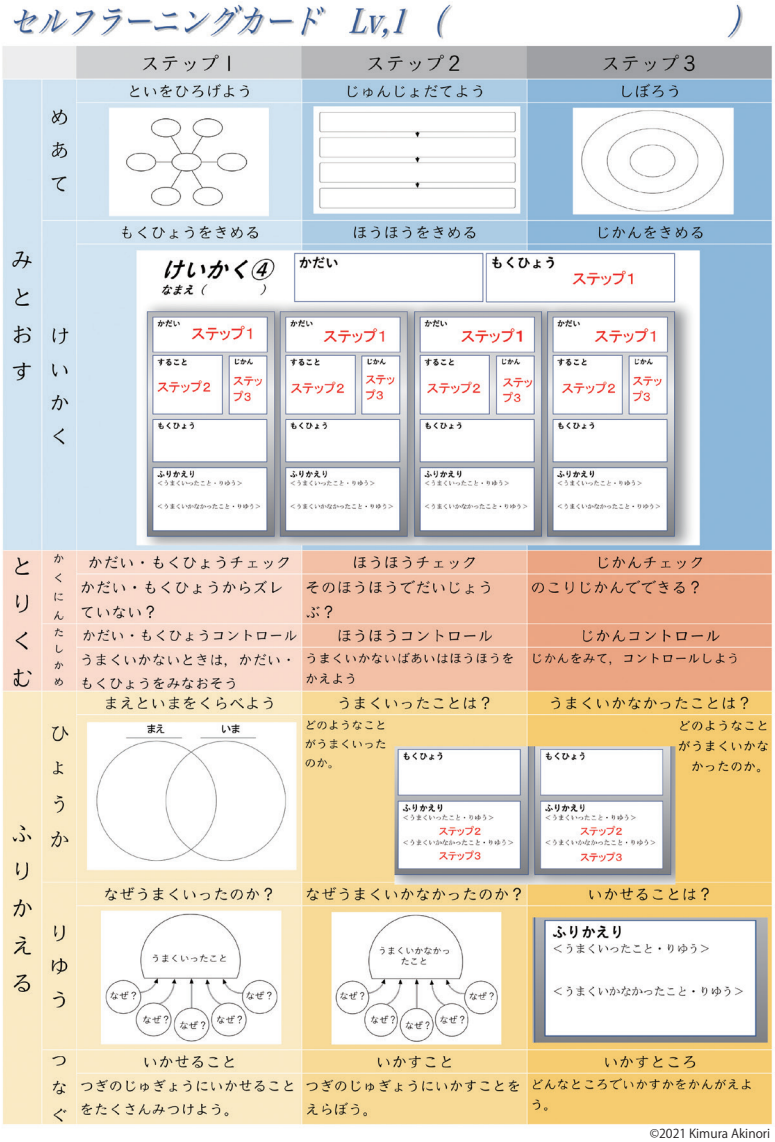
最後に，「活かす場面（Step3）」では，次の単元や授業の目標を設定する際に，選択した「活かすこと」をどの活動・場面でどのように活かすのかを考え，決めます。その際に，次の単元や授業の学習計画にナンバリングした「活かすこと」を入れるように助言することで，子どもたちは，これまでの学習の成果や課題を土台として学習を進めることができるようになっていくのです。

以上の自己調整スキルを子どもたちが確認しながら自ら主体性を発揮して学習を進めることができるように『セルフラーニングカード』（図 2a-9）を作成しました。レベル１は小学校低学年用，レベル２は小学校高学年から中学生，高校生用となっています。



©2021 Kimura Akinori

図 2a-9 自己調整スキルの型「セルフラーニングカード」

SLC（PDF版）

SLC（Excel版）